アップグレード後の作業

- アップグレード完了の確認 （1 ページ）
- UCSM のファームウェア バージョンの確認 （2 ページ）
- クリーナが実行中であるかどうかの確認 （2 ページ）
- アップグレード後の他の作業 （3 ページ）

アップグレード完了の確認

手順

ステップ 1 Cisco UCS Manager にログインして、保留中のサーバ アクティビティが HX ノードに存在しないことを確認します。

[Servers] タブ > 、**[Servers]** > **[Pending Activities]** タブで、すべてのサーバ アクティビティを確認してください。

ステップ 2 HX ノードが、期待されるファームウェア バージョンに一致することを確認します。

Cisco UCS Manager で、**[Equipment]** > **[Firmware Management]** > **[Installed Firmware]** タブを選択し、正しいファームウェア バージョンであることを確認します。

ステップ 3 SSH を介していずれかのコントローラ VM にログインします。

```
# ssh root@controller_vm_ip
```

ステップ 4 HyperFlex Data Platform のバージョンを確認します。

```
# stcli cluster version


Cluster version: 2.5(1c)
Node HX02 version: 2.5(1c)
Node HX05 version: 2.5(1c)
Node HX01 version: 2.5(1c)
Node HX03 version: 2.5(1c)
Node HX04 version: 2.5(1c)
```

ステップ 5 HX ストレージ クラスタがオンラインであり、正常な状態であることを確認します。

```
# stcli cluster info|grep -i health
```

```
Sample output:
healthstate : healthy
state: healthy
storage cluster is healthy
```

ステップ 6 データストアが稼働中であり、ESXi ホストに適切にマウントされていることを確認します。

HX コントローラ VM から:

```
# stcli datastore list
```

ESXi ホストから:

```
# esxcfg-nas -l
```

ステップ 7 アップグレードが完了し、成功したことを確認します。

```
stcli cluster upgrade-status
```

```
Nodes up to date:
[HX-Cluster, HX-Node-1(1.1.1.1), HX-Node-2(1.1.1.2), HX-Node-3(1.1.1.3)]
Cluster upgrade succeeded.
```

ステップ 8 使用するブラウザ インターフェイスごとに、キャッシュを空にしてブラウザ ページをリロードし、HX Connect のコンテンツを更新します。

UCSM のファームウェア バージョンの確認

Cisco UCS Manager で、**[Equipment]** > **[Firmware Management]** > **[Installed Firmware]** タブを選択し、正しいファームウェア バージョンであることを確認します。

ハードウェアとソフトウェア間の依存関係の完全なリストについては、UCS Hardware and Software Compatibility ツールを使用して該当する UCSM リリースを参照してください。

クリーナが実行中であるかどうかの確認

アップグレードが失敗した場合

アップグレードが失敗した場合は、クリーナを実行します。アップグレードを続けないことにしたとしても、この作業は必須です。

クリーナを手動で実行するには、次のコマンドを使用してストレージ クラスタ クリーナを再起動します。

stcli cleaner start [-h] [--id ID | --ip NAME]

構文の説明

オプション	必須またはオプション	説明
--id ID	オプション。	ストレージ クラスタ ノードの ID。ID は、`stcli cluster info` コマンドでリストされます。
--ip NAME	オプション。	ストレージクラスタ ノードの IP アドレス。IP は、`stcli cluster info` コマンドでリストされます。

アップグレードが完了した場合

アップグレードが完了した場合は、クリーナが実行中であるかどうかを確認します。指定のノードのストレージ クラスタ クリーナに関する情報を取得するには、次のコマンドを使用します。

stcli cleaner info [-h] [--id ID | --ip NAME]

構文の説明

オプション	必須またはオプション	説明
--id ID	オプション。	ストレージ クラスタ ノードの ID。ID は、`stcli cluster info` コマンドでリストされます。
--ip NAME	オプション。	ストレージクラスタ ノードの IP アドレス。IP は、`stcli cluster info` コマンドでリストされます。

アップグレード後の他の作業

アップグレードが完了したことを確認したら、Cisco HyperFlex Smart Call Home を有効にします。詳細については、『Cisco HyperFlex Smart Call Home クイック スタート ガイド』を参照してください。